

2022年11月4日(金)・5日(土)プログラム

第9回 The 9th Japan Cycling Congress in Saitama City

自転車利用環境向上会議 in さいたま

会場: RaiBoC Hall さいたま市民会館
おおみや

目次

会場案内	-----	p. 1
[1日目]		
・概要	-----	p. 3
・1日目のプログラム詳細	-----	p. 4
・パネルディスカッション【第1部】の概要	-----	p. 5
・パネルディスカッション【第2部】の概要	-----	p. 6
・ポスターセッション、企業展示ブース	-----	p. 7
[2日目前半]		
・分科会【第1部】プログラム詳細	-----	p. 8
・分科会【第2部】プログラム詳細	-----	p. 9
・全体会議プログラム詳細	-----	p. 9
[2日目後半] ※		
・散走体験、サイクルフェスタ会場視察集合場所	-----	p.10
・散走体験プログラム概要	-----	p.10
・サイクルフェスタ会場視察	-----	p.11

※事前にお申込みいただきました方への参加となります。

注意事項

【参加者の皆様全員】

- ・お渡しした、パスは2日間使用いたしますので、各自で保管をお願いします。
- ・2日目は、受付の必要はありません。お申込みの各分科会会場（9:00開場予定）へ直接ご来場ください。

【2日目後半の現地視察・散走体験を申込の方】

- ・散走体験を申込の方は、14:15から受付開始いたします。
14:30までに6F集会室8にお集まりください。
- ・現地視察を申込の方は、14:45から受付開始いたします。
15:00までに、会場のさいたま新都心バスターミナルにお集まりください。

会場案内図

1日目・全体会議

RaiBoC Hall.

避難経路図
Emergency Route

7F

大ホールメインエントランス 大ホール1階席
小ホール客席 小ホール舞台 小ホール楽屋



企業展示ブース
1日目 11:00~18:15
2日目 9:15~14:15

1日目・2日目

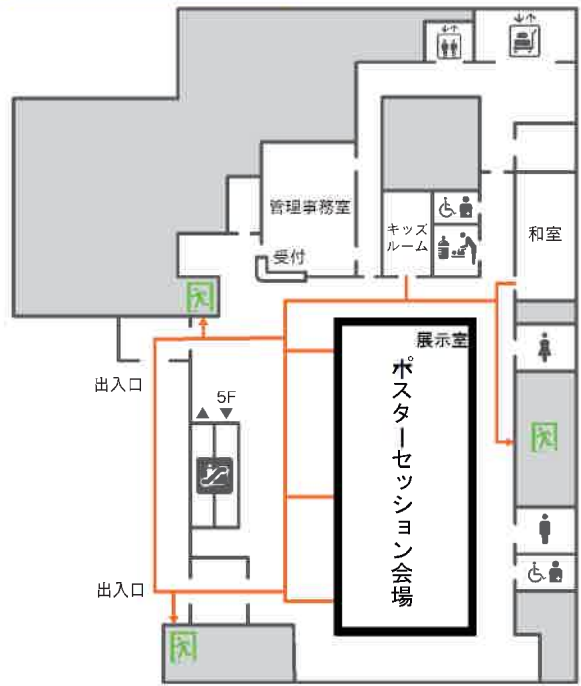
RaiBoC Hall.

避難経路図
Emergency Route

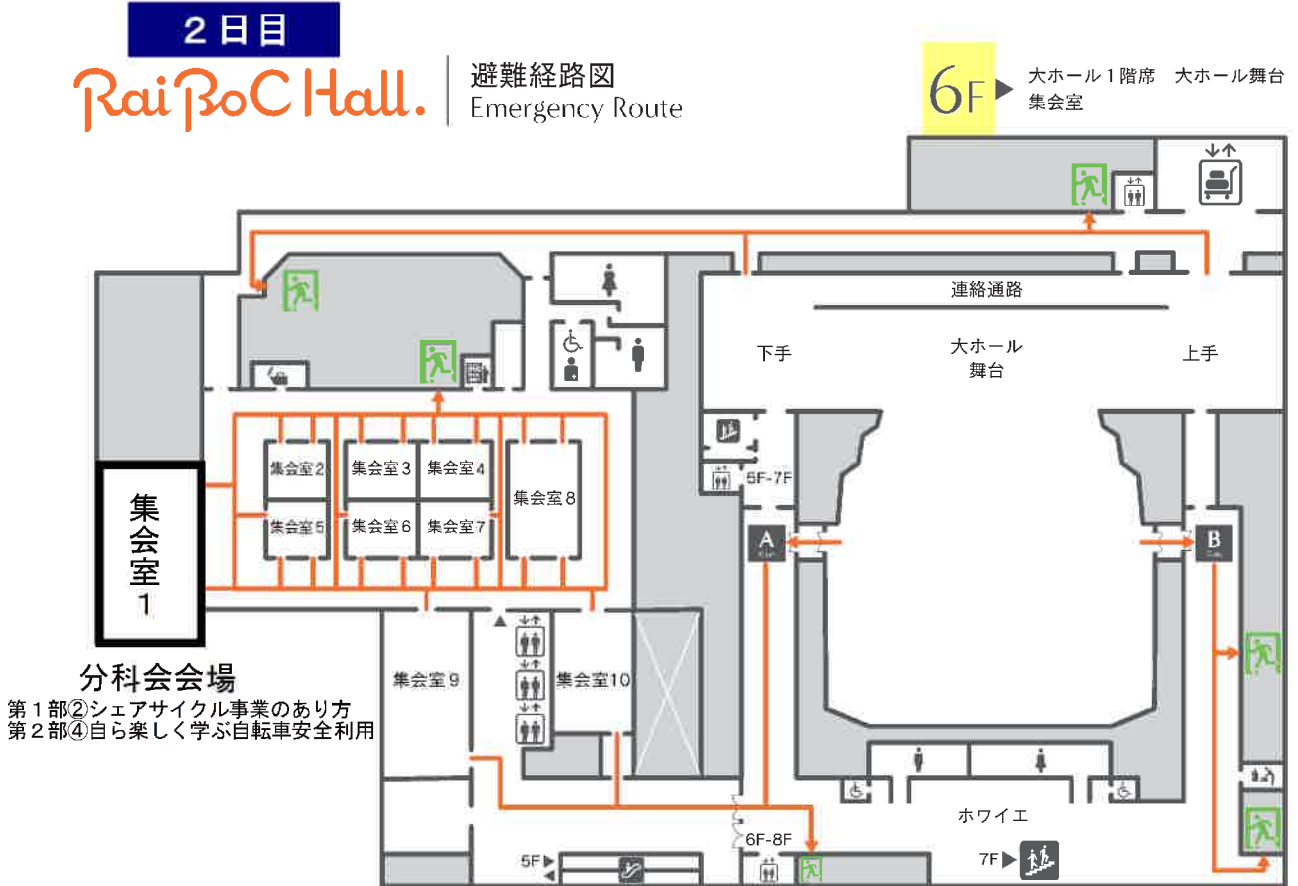
4F

展示室 和室
管理事務室 (受付)

ポスターセッション会場
1日目 11:00~18:15
2日目 9:15~14:15



会場案内図



第9回自転車利用環境向上会議inさいたま

概要

日程 1日目 11月4日(金) 13:00~
2日目 11月5日(土) 9:15~

会場 RaiBoC Hall (さいたま市民会館おおみや)

会議
コンセプト 安全で持続可能なモビリティライフと自転車
~Beyond the COVID19 新時代の自転車ライフ~

主な
プログラム ・基調講演・パネルディスカッション・テーマ毎の分科会
・ポスターセッション・企業展示ブース・現地視察・散走体験

コンセプト 安全で持続可能なモビリティライフと自転車 ~Beyond the COVID19 新時代の自転車ライフ~

<趣旨>

- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響が長期化していることにより、日常における恒常的な感染対策、デジタル化の急速な進展による働き方の変化、それに伴い、住居地の選び方やオンラインによる消費の増加など、「新しい生活様式」へ社会全体が変化し続けている。また、世界的にも、「持続可能な開発目標」(SDGs)、「カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」が国際社会共通の目標となり、人口減少・高齢化が進む日本において、新型コロナウイルス感染症との共存とともに社会全体で取り組む必要がある。
- このような社会情勢化において自転車は、環境に優しく、人との接触を低減する移動手段であるとともに、健康増進や、地域を巡る散走等、生活を豊かにすることを目的とした利用も増え、ニューノーマルな生活の担い手として期待されており、観光地域づくり等による地域振興など、これまで以上に「自転車を活用したまちづくり」が注目されている。一方、自転車利用者が増えたことで、自転車通行空間整備等の安全対策の推進や、交通安全教育等、「自転車の安全利用」の重要性が高まっている。
- さいたま市は、地形が平坦で広域サイクリングロードを有するなど自転車が利用しやすい環境であり、自転車保有率も高く、多くの方が自転車を利用していることから、自転車に関する様々な取組を総合的に取りまとめた、「さいたま自転車まちづくりプラン~さいたまは一と~」を策定し「自転車のまち さいたま」を推進している。また、自転車通行空間の整備や安全利用啓発を促進するにあたり、「自転車」だけでなく、「歩行者」、「クルマ」等、道路を共有するすべての方がお互いの立場を思いやる気持ちを持つ、シェアザロードの精神を表したキーワード「BEAUTIFUL RIDE」を掲げている。



- 今後のMaaS・デジタル化の進展や、モビリティの多様化が進むことも見据えつつ、「安全で持続可能なモビリティライフと自転車 Beyond the COVID19 新時代の自転車ライフ」について、「BEAUTIFUL RIDE」の精神を掲げた、「自転車のまち さいたま」から発信していく。

1日目

1日目 11月4日(金) / 全体会議 会場:大ホール

※ポスターセッション及び企業展示ブースは11:00から18:15まで閲覧可能

時刻	内容
11:00~	受付開始(7Fホール)
13:00~13:15	オープニング 主催者挨拶/来賓挨拶
13:15~13:55	基調講演①「自転車活用推進計画」国土交通省自転車活用推進本部事務局 基調講演②「自転車の安全利用」警察庁 交通局 交通企画課
14:05~15:20	パネルディスカッション[第1部] <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における海外の自転車活用推進事例 1) フランス:パリの自転車革命:アンヌ・イダルゴ市長の決意 2) オランダ:自転車政策を進める際の世論形成の手法について ・海外事例紹介を受けてのトークセッション
15:30~16:45	パネルディスカッション[第2部] テーマ:「これから日本が取り組むべき自転車活用推進政策とは」 (さいたま市から発信するこれからのモビリティライフ)
16:45~18:15	ポスターセッション(4F展示場)及び企業団体展示ブース(7Fホワイエ)自由閲覧・交流
19:00~20:30	レセプション※(事前予約/有料) ※主催:自転車利用環境向上会議全国委員会 会場:東天紅JACK大宮店

1日目

会場:7F大ホール 13:00~

プログラム詳細

タイトル	登壇者(敬称略)等
オープニング 開会挨拶①	清水 勇人(さいたま市長)
オープニング 開会挨拶②	阪本 克己(さいたま市議会議長)
オープニング 来賓挨拶	朝日 健太郎(参議院議員 自転車活用推進議員連盟 事務局 次長)
基調講演①	金籠 史彦(自転車活用推進本部事務局 次長 国土交通省 道路局 参事官) ・講演内容「自転車活用推進計画」
基調講演②	宮城 卓志(警察庁 交通局 交通企画課 課長補佐) ・講演内容「自転車の安全利用について」
司 会	アンドレア・ポンピリオ(プロデューサー・TVラジオプレゼンター)

パネルディスカッション【第1部】の概要 14:05～

テーマ: コロナ過における海外の自転車活用推進事例

第1部のプログラム詳細

時刻	項目	内容
14:05～	海外事例報告① ・動画再生20分	フランス: パリの自転車革命・アンヌ・イダルゴ市長の決意 登壇者: マリオン・ラガディック(オックスフォード大学院)
14:25～	海外事例報告② ・動画再生20分	オランダ: 自転車政策を進める際の世論形成の手法について 登壇者: ルーカス・ハームズ(DCE代表理事)
14:45～ 15:20	トークセッション ・35分	海外事例を受けて、下記、登壇者によるトークセッション ・上記2名の海外スピーカー(オンラインで参加) ・三国 千秋(JCC全国委員会監事、地球の友・金沢、北陸大学名誉教授) ・大森 宣暁(宇都宮大学教授、さいたまはーと推進協議会会長) ・吉田 長裕(JCC全国委員会幹事、大阪公立大学准教授)

パネルディスカッション【第1部】の概要

●海外事例報告①

フランス: パリの自転車革命・アンヌ・イダルゴ市長の決意

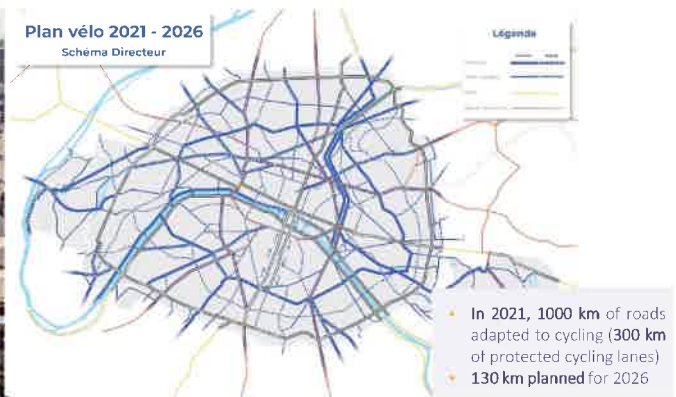
概要

パリが、クルマ中心の都市交通から、自転車等の人を優先とした都市交通に変貌を遂げたことについて、背景、歴史的経緯、具体的な施策、批判に対する市長の決意などを紹介。

資料抜粋



クルマ専用道のような河川沿いの道路が人を優先した憩いの空間に変貌



コンパクトな都市、コロナ過で一時的に拡充した自転車レーンを恒久化するなど、サイクリングに適した道路1000km、自転車専用レーン300kmの自転車ネットワーク

パネルディスカッション【第1部】の概要

●海外事例報告②

オランダ：自転車政策を進める際の世論形成の手法について

概要

オランダが誇る自転車活用の最先端の知識や経験を持ち、中央政府や行政の専門家等と連携して、自転車活用の推進を国内外で行う財団法人DCEの代表より、オランダの自転車文化の形成プロセスや自転車施策を推進する際に重要な考え方等を紹介。

資料抜粋



交差点における
クルマと自転車の分離事例

#4 ハードウェア・ソフトウェア・そしてオルグウェア

自転車活用を街の持続可能なモビリティ手段として取り込む場合、下記のキーワードを念頭にマスタープランを組み立てることが重要です：



Hardware: 自転車活用に必要な物理的なニーズ・素材(マテリアル)

Software: 人間の主観のモビリティ

Orgware: 自転車活用に携わる様々な分野のキープレイヤーの協力と連携体制づくり

Bicycle inclusive mobility
自転車の包括的モビリティ



ハード・ソフト・オルグウェア(連携組織)による
施策推進

パネルディスカッション【第2部】の概要 15:30~

テーマ：これから日本が取り組むべき自転車活用推進施策とは
(さいたま市から発信するこれからのモビリティライフ)

第2部のプログラム詳細

時刻・項目	内 容
15:30~ ●ラウンド1 パネリスト話題提供	コーディネーター 楠田 悦子(モビリティジャーナリスト) ①ピーター・テルプストラ(オランダ王国大使館 経済部 公使参事官) ②金籠 史彦(自転車活用推進本部 事務局 次長 国土交通省 道路局 参事官) ③清水 勇人(さいたま市長) ④小林 成基(JCC全国委員会副会長、NPO法人自転車活用推進研究会理事長) ⑤片山 右京(一般社団法人ジャパンサイクルリーグチェアマン)
16:10~16:45 ●ラウンド2 トークセッション	・様々な立場で自転車に携わるパネリストが各々の話題提供を受け、これからの日本の自転車政策を議論。

パネルディスカッション【第2部】の概要

●ラウンド1: パネリストの話題提供の視点について

パネリスト・話題提供の視点(予定)

- ①ピーター・テルプストラ(オランダ王国大使館 経済部 公使参事官)
・オランダの自転車利用環境について紹介
- ②金籠 史彦(自転車活用推進本部 事務局 次長 国土交通省 道路局 参事官)
・国として、これからの公共交通機関との連携など自転車活用推進の施策や措置について
- ③清水 勇人(さいたま市長)
・さいたま市の自転車活用と今後のまちづくりについて
- ④小林 成基(JCC全国委員会副会長、NPO法人 自転車活用推進研究会理事長)
・自転車活用推進法の施行から5年経たこと、コロナウィルス感染症の流行もあり、自転車利用環境の変化や、自転車を利活用するうえで安全性や制度整備などの課題について
- ⑤片山 右京(一般社団法人ジャパンサイクルリーグチェアマン)
・サイクルスポーツ、自転車文化という一面と魅力あるモビリティとしての一面の両面から、利用促進(ファン作り)をしていく必要性について

ポスターセッションの見どころ、企業展示ブースの紹介 会場: 7F大ホール16:45~

ポスターセッション

会場: 4F展示室

企業展示ブース

会場: 7F大ホールホワイエ他

時間・場所	内 容
16:45~17:00 大ホール	●ポスターセッションの見どころ、企業展示ブースの紹介 説明者 内海 潤 (JCC全国委員会幹事 NPO法人自転車活用推進研究会)
17:00~18:15 4F展示室 7F大ホールホワイエ他	●ポスターセッション、企業展示ブースの自由に巡回

ポスターセッション、企業展示ブース 巡回可能時間
1日目 11:00~18:15
2日目 9:15~14:15

2日目・前半

2日目 11月5日(土) ①分科会・全体会議 会場:大ホール、小ホール、第1集会所など <small>※分科会は参加人数に応じた広さの会場を割り当てます。</small>		<small>※ポスターセッション及び企業展示ブースは 9:15から14:15まで閲覧可能 ※分科会については、申込時に第1部、第2部からそれぞれご希望の テーマをお選び下さい。(申込先着順)</small>
時刻	内容	
9:15~10:35	分科会【第1部】	1. 自転車通行環境整備 ~自転車歩行者道が作られ続ける背景を探る~ 2. シェアサイクル事業のあり方 ~今、改めて問う、シェアサイクルの効果とは~ 3. サイクルツーリズム ~成果を生む要は?~
10:55~12:15	分科会【第2部】	4. 自ら楽しく学ぶ自転車安全利用 ~新しい自転車教育のあり方~ 5. 交通ネットワークの一員としての自転車 ~自転車に何ができるのか~ 6. 「次、何しよう?」のヒント 自転車活用推進の事例とツボ ~ざいたま市等自治体を題材として~
12:30~13:30	全体会議:分科会報告及びまとめなど(大ホール)	

2日目・分科会【第1部】

9:15~10:35

プログラム詳細

会場	タイトル	登壇者(敬称略)	内容
7F 小ホール	分科会① 自転車通行環境整備 ~自転車歩行者道が 作られ続ける背景を 探る	【座長・発表者】 大脇 鉄也(JCC全国委員会幹事 (株)建設技術研究所) 【コメンテーター】 黒岩 勇輔((株)竹中道路 技術部長 元国土交通省東京国道事務所) 菅沼 真澄(自転車活用推進本部事務局 自転車活用推進官) 屋井 鉄雄(JCC全国委員会顧問 東京工業大学副学長・教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・話題提供(自転車通行空間の整備状況、法令や基準改正の経緯など) ・歩行者と分離された自転車通行空間整備に関するディスカッション
6F 集会所1	分科会② シェアサイクル事業 のあり方 ~今、改めて問う、 シェアサイクルの効果 とは	【座長】 三浦 清洋(JCC全国委員会幹事 (公社)日本交通計画協会交通計画研究所 企画室長) 【発表者】 三川 啓吾(横浜市 都市整備局 都市交通課) 片岸 将広(JCC全国委員会事務局長 (株)日本海コンサルタント まちのり事務局) 澤 充隆((株)ドーコン執行役員副本部長 NPO法人ポロクル) 野嶋 剛(大東文化大学教授) 【コメンテーター】 吉田 樹(福島大学准教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・事例から見る最近の取り組み(横浜・金沢・札幌・台湾の事例) ・討議:都市(まちづくり)にとってシェアサイクルとは? ・会場質疑と提言的とりまとめ
7F 大ホール	分科会③ サイクルツーリズム ~成果を生む要は?	【座長】 山中 英生(JCC全国委員会副会長 徳島大学教授) 【発表者】 高橋 幸博((株)ARCHヒーロー北海道代表取締役) 小美野 智紀(JCC全国委員会幹事 (株)ドーコン) 絹代(サイクルライフナビゲーター) 【コメンテーター】 坂本 大蔵(JCC全国委員会幹事 一般社団法人しまなみジャパン 専務理事) 宮内 忍(日本風景街道コミュニティ サイクルツーリズム研究委員会顧問) 矢部 拓也(徳島大学教授)	<ul style="list-style-type: none"> ・話題提供(サイクルツーリズムをめぐる動向、NCRと地域づくり、文化・物語を作るには?) ・コメント(しまなみの事例から、NCRの課題、地域に帰する観光へ) ・会場質疑と討議

2日目・分科会【第2部】 10:55～12:15

プログラム詳細

会場	タイトル	登壇者(敬称略)	内容
6F 集会室1	分科会④ 自ら楽しく学ぶ自転車 安全利用 ～新しい自転車教育の あり方	【座長】 三国 千秋(JCC全国委員会監事 地球の友・金沢 北陸大学 名誉教授) 【発表者】 御子柴 慶治(日本自転車文化協会理事) 平川 一成(大成ロテック(株)技術研究所 新領域研究室長) 稲富 洋子(NPO法人I-DO 北九州交通公園・市立交通安全セ ンター園長代理) 藤本 典昭((一社)市民自転車学校プロジェクト代表理事) 【コメンテーター】 吉田 長裕(JCC全国委員会幹事 大阪公立大学准教授)	・各地の「自転車交通安全教育」 取組みの発表(伊那市・北九州 市・関西での取組み) ・コメント(海外での事例紹介を含 めた動向と課題) ・今後に向けての提言
7F 小ホール	分科会⑤ 交通ネットワークの一員 としての自転車 ～自転車に何ができる のか	【座長】 鈴木 美緒(JCC全国委員会幹事 東海大学准教授) 【発表者】 山田 明宏(沼津市 都市計画部 まちづくり政策課 交通政策室) 佐藤 匡(神姫バス(株)バス事業部 営業課長) 【コメンテーター】 神田 佑亮(呉工業高等専門学校教授)	・話題提供(自治体における計画 策定時の自転車・公共交通連携、 公共交通事業者による自転車の 活用) ・コメント(公共交通政策から見た 自転車) ・ディスカッション
7F 大ホール	分科会⑥ 「次、何しよう?」のヒント 自転車活用推進の 事例とツボ ～さいたま市等自治体 を題材として	【座長】 小美野 智紀(JCC全国委員会幹事 (株)ドーコン) 【発表者】 代田 智之(さいたま市 都市局 都市計画部 自転車まちづくり推 進課長) 上窪 健一(石狩市企画経済部企画課長) 飯塚 雅彦(埼玉県県土整備部県土整備政策課政策幹) 【コメンテーター】 菅沼 真澄(自転車活用推進本部事務局 自転車活用推進官)	・話題提供(さいたま市、石狩市、 埼玉県における自転車活用推進 計画の事例の紹介)、全国の事 例での課題や悩みごとの紹介 ・コメント(自転車活用推進計画を 推進するための課題と対応) ・ディスカッション・Q&A

2日目・全体会議

会場: 7F大ホール(12:30～13:30)

プログラム詳細

タイトル	登壇者(敬称略)	内容
分科会まとめ	進行役 元田 良孝(JCC全国委員会監事 岩手県立大学名誉教授) 分科会①【座長】大脇 鉄也(JCC全国委員会幹事 (株)建設技術研究所) 分科会②【座長】三浦 清洋(JCC全国委員会幹事 (公社)日本交通計画協会 交通計画研究所 企画室長) 分科会③【座長】山中 英生(JCC全国委員会副会長 徳島大学教授) 分科会④【座長】三国 千秋(JCC全国委員会監事 地球の友・金沢 北陸大学 名誉教授) 分科会⑤【座長】鈴木 美緒(JCC全国委員会幹事 東海大学准教授) 分科会⑥【座長】小美野 智紀(JCC全国委員会幹事 (株)ドーコン)	・各分科会の座長から概要や特徴 的な意見等の報告。 ・各分科会での議論を踏まえ、今後 の自転車活用推進に向けた課題や 方向性について意見交換。
ポスター表彰	内海 潤(JCC全国委員会幹事 NPO法人自転車活用推進研究会)	ポスター展示のなかから、参加者の 皆様のご意見やJCC全国委員会の 審査により各賞を選定し、表彰。
開催報告	片岸 将広 (JCC全国委員会事務局 長 (株)日本海コンサルタント まちのり事務局)	参加者数、ポスター展示数、企業 ブース出展数などの開催報告。
次回開催地 挨拶・紹介	加藤 隆一(仙台市 市民局 生活安全安心部 自転車交通安全課長) 大宮 正(名取市 生活経済部 商工観光課 観光振興係長)	
閉会挨拶	小川 博之(さいたま市副市長) 三国 成子(JCC全国委員会会長 地球の友・金沢)	

2日目・後半 サイクルフェスタ会場視察①(マルチモビリティ～) プログラム詳細

時間	集合場所	詳細
受付開始 14:45 開始 15:00 終了 16:00	さいたま新都心バスターミナル待合室 (さいたま市大宮区北袋町1丁目603番地1)※	マルチモビリティ実証実験の視察・説明会 さいたま市では電動アシスト付自転車、スクーター、超小型EV等の複数のモビリティのシェアリング実証実験を行っています。市の担当者、シェアモビリティの運営事業者(Openstreet株式会社他)による説明、及びモビリティ実車等の視察をサイクルフェスタ会場で実施します。 ※視察会場への移動は参加者各自となります。なお、視察会場は会議会場から電車と徒歩で約30分程度となります。

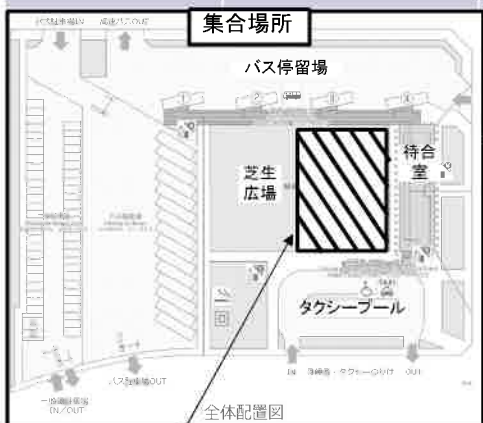


バスターミナル建物内にある待合室に直接お越しください。



2日目・後半 サイクルフェスタ会場視察②(デンマーク式～) プログラム詳細

時間	集合場所	詳細
受付開始 14:45 開始 15:00 終了 16:30	さいたま新都心バスターミナル芝生広場 (さいたま市大宮区北袋町1丁目603番地1)※	デンマーク式自転車教室の視察・体験 幼少期からの自転車教育手段として注目されている「デンマーク式自転車教室」を視察いただきます。また、国内で数多くのデンマーク式自転車教室の実施に携わっている市民自転車学校プロジェクトの藤本様による概要説明と、「デンマーク式自転車教室」の現地体験を含む内容となっております。 ※視察会場への移動は参加者各自となります。なお、視察会場は会議会場から電車と徒歩で約30分程度となります。



バスターミナル敷地内にある芝生広場に直接お越しください。

デンマーク式じてんしゃゲームとは?
「遊びながら学ぶ」がコンセプトで、ゲームを楽しみながらバランス感覚・運転スキル・協調性・危険回避能力を“自然と”身に付けることができます

